

# つちおと

## 住宅再建まるごと相談会を開催しました！

- 6月22日（日）、気仙沼市立本吉公民館にて、東北財務局、宮城復興局、宮城県、気仙沼市、南三陸町、仙台弁護士会の主催による住宅再建まるごと相談会を開催しましたので、その概要をお知らせします。（2面に関連記事）。

この相談会は、防災集団移転促進事業等が進むにつれて、住宅再建が徐々に目に見えてきたところにある中、支援機関が一堂に会して、住宅再建に役立つ情報や相談の機会を提供するものです。金融機関やハウスメーカーなども共催し、住宅再建まるごとセミナー、住宅再建まるごと相談会、パネル展示などを行いました。

当日は、午前の部、午後の部を合わせて約100名の皆様にご来場いただき、セミナー会場が満席になるなど、制度の知識習得やお悩み解決のお役に立てたのではないかと感じました。



住宅再建まるごとセミナーの様子



パネル展示の様子

◆外を見渡すと、山のみどりは、春の柔らかいみどりから、夏のみどりへ変貌しつつあります。そんな中で目を惹くのはヤマボウシの白さです。梅雨のジメジメを少し忘れさせてくれたりします。田圃の稲もここに来て平年並みに（まだ、みどりの絨毯とまではいきませんが）育っているようです。また、霧の発生が例年と比較して多い（人から聞いた話では海水温が低いための）ようです。車の運転の際には注意してください。東日本大震災の影響で地盤も低くなっている地区もありますので、梅雨の末期の豪雨には警戒を！

◆復興交付金については、第9回の交付可能額通知が6月24日に行われました。引き続き各市町では第10回復興交付金事業計画の策定の検討が進められています。また、気仙沼支所管内の市や町では、事業の再点検作業に取り掛かる段階に来ているようです。

気仙沼支所も復興交付金事業計画の策定にあたり事前に市や町とコミュニケーションを図りながら、事業計画の策定作業の省力化と効率化に向けて、情報収集に努める予定です。（松）

### ～ 住宅再建まるごと相談会 ～

#### 住宅再建まるごとセミナー

各支援機関からセミナーを行いました。セミナーを受講した皆様からは、「制度の存在は知っていたが、自分が対象になるかならないか、受講して初めてわかった。」「今まで知らなかった仕組みを知ることができた。」といったお声をいただきました。

宮城復興局からは、住まいの復興給付金制度（つちおと第15号でも紹介）について説明をいたしました。本制度は被災者の住宅再取得などに係る消費税率引き上げに伴う負担増に対応する措置です。



盛況となった住宅再建まるごと相談会の受付

#### 住宅再建まるごと相談会

まず、皆様が個々にお抱えのお悩みを簡単に受付でお伺いし、その解決のために関係しそうな支援機関をピックアップした後、会場に設営した個別ブースでお待ちいただき、順次必要な支援機関がお伺いし、「住宅ローンの減免を受けられるか。」「どの支援制度を活用するのが効果的であるのか。」などの個別の疑問にお答えしました。時間内の個別ブースはほとんど埋まり、多くの方から幅広い相談が寄せられ、関心の高さがうかがわれました。

宮城復興局としては、引き続き、このような民間関係機関と行政が連携した取り組みを行い、皆様の住宅再建の後押しをして参ります。



住宅再建まるごと相談会の様子

当日会場には、むすび丸もかけつけてくれました。

ご来場の皆様からは、「仙台では人が多すぎて、ここまでむすび丸に近づけない!」とのことで、ご好評をいただきました。



会場入り口に立つむすび丸

### ～ みやぎ地域復興支援会議キックオフミーティング ～

6月17日、宮城県庁にてみやぎ地域復興支援会議が開催されました。これは、被災地での住民参画活動を根付かせ、広げるため、関係者の意見交換を図る場として、宮城県が新たに開催するものです。

会議では、県による平成25年みやぎ地域復興支援事業の助成団体による活動報告とパネルディスカッションが行われました。気仙沼の浦島地区に支援に入っている、特定非営利活動法人日本国際ボランティアセンターも活動報告されました。

内容としては、団体がきっかけをつくり、住民参画活動をスタートさせ、最終的には住民の皆様が主体となって継続できる仕組み作りが必要である、などの話がされました。

本会議は、今後、石巻や気仙沼でも開催されるということです。被災地住民支援のますますの前進を期待しています。



助成団体による活動報告の様子

### ～ 第9回復興交付金交付可能額通知 ～

5月下旬に被災自治体から提出された復興交付金事業計画に対して、6月24日に交付可能額の通知を行いました。8県に対して通知を行い、その合計の事業費は702億円、うち気仙沼市については、水産業共同利用施設復興整備事業、都市防災総合推進事業、都市再生区画整理事業等に約195億円、南三陸町については、水産業共同利用施設復興整備事業、被災地域農業復興総合支援事業、漁業集落防災機能強化事業等に約15億円となりました。

これまで、平成23年度から9回にわたって復興交付金の交付可能額の通知を行っているところ、気仙沼市については合計事業費で約2494億円、南三陸町については合計事業費で約991億円を配分しています。

次回（第10回）の事業計画の提出受付時期は被災自治体の作業状況等を踏まえて検討することとしています。引き続き、気仙沼支所としても、気仙沼市と南三陸町の事業計画の策定や事業の施行に協力して参ります。



震災遺構としての保存調査予定の県立気仙沼向洋高校  
(都市防災総合推進事業関係)



南三陸町の平磯漁港  
(漁業集落防災機能強化事業関係)

# 復興関連イベント

各地で開催される  
復興イベントをご紹介します。

## 【応募期間 9月24日まで】東日本大震災 復興フォト&スケッチ展 2014 UR都市機構

URは、復興への歩みを広く発信し、一日も早い復興を支援するため、復興に関する写真・スケッチの公募展を開催します。被災地の暮らしや風景から、皆さんが復興を感じる場面をぜひお寄せください。復興庁後援。

詳細はURLよりご確認ください。⇒ <http://www.ur-net.go.jp/fukkou-photosketch/contest2014/>

【応募期間】5月16日（金）～9月24日（水）

## 【7月26日】楽しいエイジング 2014 東北大学/東北大学加齢医学研究所 出前カレッジ係

加齢とうまく付き合うための科学、老年期を愉快地に過ごすノウハウを気軽に学んでみませんか？（年齢を問いません）

聴講無料 定員約100名 申し込み不要 ソフトドリンク+お菓子付き

7月26日（土） 気仙沼会場 「画像で見る脳の加齢」 講師 福田 寛（東北大学名誉教授/東北薬科大学教授）

◇開催時間① 10:30～11:30 ◇場所 大谷公民館 ◇開始時間② 14:00～15:00 ◇場所 面瀬センター

詳細はURLよりご確認ください。⇒ <http://www.idac.tohoku.ac.jp/demae/img/poster2014.pdf>

## ナンプレにチャレンジ！！

		5						7
			6	5	8	3	1	
					1	9	5	
4		6			3	7	8	5
	5						6	
9	7	8	5			1		3
	3	2	8					
	6	1	3	2	9			
8						6		

### ルール

- ・9マスごとの縦の列と横の列にそれぞれ1から9の数字が1つずつ入ります。
- ・太枠で囲まれた9マス（縦3マス、横3マス）にそれぞれ1から9の数字が1つずつ入ります。

### 【編集後記】

◆気仙沼に来て半年が過ぎました。しかしまだまだ食べていない水産加工品が多いです。水産加工品めぐりを続けます。また、社内の先輩の勧めもあり、横のつながりを広げる食事をやってみようかと思えます。

（前号のナンプレの回答）

3	6	8	2	1	9	4	5	7
1	4	2	3	5	7	6	8	9
7	5	9	6	8	4	2	3	1
6	8	7	1	2	3	5	9	4
2	9	5	4	7	8	1	6	3
4	3	1	9	6	5	7	2	8
5	2	3	7	9	1	8	4	6
9	7	6	8	4	2	3	1	5
8	1	4	5	3	6	9	7	2

## 唐桑のニッコウキスゲ！



これまで発行した「つちおと」は、復興庁ホームページで御覧いただくことができます

- ①復興庁のホームページ
- ②宮城復興局
- ③気仙沼支所だより「つちおと」

「つちおと」発行元（お問い合わせ先）

復興庁 宮城復興局 気仙沼支所  
電話 0226-23-5301  
FAX 0226-23-5310

復興庁ホームページ  
<http://www.reconstruction.go.jp/>